

平成30年度 横浜市立山内中学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

他を思いやることのできる人間性を大切にするために、道徳の時間だけでなく、各教科等の授業を含む様々な場面で、生徒の達成感・自己有用感を育成する。

生徒の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

教育熱心な保護者が多く、学校教育に関心の高い地域である。幼少の頃から情操教育をしっかり受けているため、自然体で元気よく自ら挨拶ができる。ただ、やや自己中心的な面があり、周囲の人たちのことを気遣った言動がとれないこともある。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・すべての教育活動で道徳の理念が生かされるように、道徳教育の充実を図る。
- ・自分の良さを認めていくなど、自己を肯定的にとらえた言動がとれるような心を育てる。
- ・異年齢集団活動や職場訪問を通して、思いやりの心や協力する心が育つように努める。

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・年間計画にそのような、先を見通した道徳の授業展開ができるようにする。
- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を丁寧に検証し、指導目標がより確実に達成できるように取り組む。
- ・学校全体で担任が授業を公開し合うなど、指導技術の向上を図る。 【以上、視点1】
- ・生徒にとって魅力的で効果的な教材を工夫し、準備していく。 【視点2】

指針2 体験活動の充実

- ・学級経営の日常的な中心的活動として、話し合いの進め方、役割分担、意思決定等を充実させ、定着を図る。
- ・「生徒会活動」など、「異年齢集団活動」がより自主的、意欲的に実践できるように計画し、指導していく。 【以上、視点3】
- ・職業講話や職場訪問を実施し、実践力向上のキャリア教育を推進する。 【視点4】